農政連情報
みどりの風
2018（平成30）年 September vol.344

今月の表紙
水滴の大会（撮影：ストラトン　恵様）
第６回「がんばろう熊本　未来に伝えたい農業・農村の風景」フォトコンテストで、たのしい未来賞（学生）を受賞された方の作品です。

■県議会議員熊本第二区補欠選挙
　農政連公認・推薦候補者が当選
■平成３０年７月豪雨被災５県に見舞金
■日米新協議８月９日ワシントンで
■ TPP11 国内手続き完了　日 EU・EPA 署名
■ JA 熊本経済連からのお知らせ
■参議院議員藤木しんや氏コラム
■参議院議員山田としお氏コラム
■ガンバッテます
■中央会・連合会からのお知らせ

あぜみち

気象庁は8月1日、7月平均気温が統計開始以来、東日本で最高気温、西日本でも2位タイの高温と発表した。

もはや災害とまで思えるような異常気象では、熱中症の他に食中毒にも気をつけたい。食中毒を起こす主な原因はO（オー）157などの「細菌」とノロウイルスに代表される「ウイルス」である。

「細菌」による食中毒は夏場の6月～8月に多く、温度や湿度などの条件がそろうと食物の中で増殖し、その摂取が原因となる場合が多い。

一方、「ウイルス」による食中毒は冬場の11月～3月に多く、低温や乾燥した環境中で長く生存するが、細菌と違い、食物自体では増殖せず、食物などを介して体内に入ると、人の腸管内で増殖する。

先日、うなぎのかば焼きによる食中毒が起きたニュースや友人の一人が職場を休むほどの腹痛を患った事を聞き、個人的にも他人事ではすまされないと感じている。家庭でも特に生魚等の調理には注意したい。

日本では、食中毒患者は年々減少傾向となっているが、近年の超清潔社会とも呼ばれる生活環境や個人的志向で、細菌やウイルスに対する抵抗力が弱くなっているのではないかとの一抹の不安も感じる。

いずれにせよ、十分な睡眠による休養と食物の扱いに気を付けて、記録的猛暑のこの夏を乗り切りたいものだ。

発　行／熊本県農業者政治連盟
熊本市中央区南千反畑町２－３　電話 096-328-1284　編集責任者　中村　隆宏
発行日／平成 30 年 8 月 15 日・毎月 1 回 15 日発行
定　価／1 部 50 円（但し、会員の購読料は会費の中に含む）

県議会議員熊本市第二区補欠選挙
農政連公認・推薦候補者が当選

熊本県議会議員熊本市第二選挙区補欠選挙は7月22日に投開票が行われ、農政連が公認・推薦した候補者2名の候補者がめでたく当選されました。

今回の補選は、昨年衆院選出馬による荒木章博氏の辞職と、本年6月に村上寅美氏の急逝に伴い、熊本市第二選挙区の定数5議席のうち、2議席が空席となったことによるものです。

告示日である13日に、元職1人、新人3人の計4人が立候補を届出、2議席を4人で争いました。

井手氏は、県議4期16年の実績を揚げ、即戦力をアピールし、竹崎氏は、秘書を務めた故村上寅美県議の後継として、道路整備や農漁業の経営支援などによる地域振興の公約を引き継ぎ、それぞれ熱戦を繰り広げました。

県農政連は7月8日、熊本市内のホテルで第1回農政連委員会を開催し、同補欠選挙について対応を協議した結果、井手順雄氏を公認候補者、竹崎和虎氏を推薦候補者とし、両候補と農業生産基盤や経営安定対策の充実、国際貿易交渉への対応などに関する政策協定を締結しました。

農政連が公認・推薦し当選された2名の方については、今後、政策協定に基づいた行動と、国政・農政の課題解決に向けたご活躍を期待致します。

【農政連公認】

熊本市第二
井手　順雄（59才）
自由民主党　当選5回

【農政連推薦】

熊本市第二
竹崎　和虎（44才）
自由民主党　当選1回

平成30年7月豪雨被災5県に見舞金

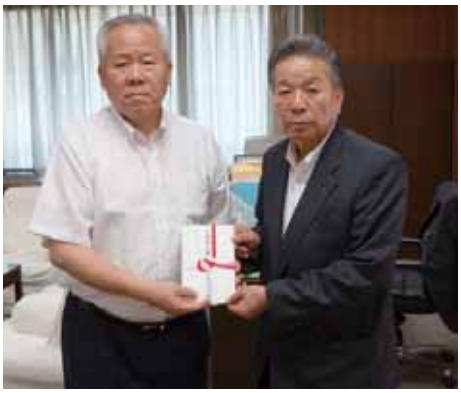
JAグループ熊本は7月24、25日の両日、西日本豪雨や台風7号で被災した広島・岡山・愛媛・福岡・長崎の5県に見舞金を贈りました。JA熊本中央会の宮本隆幸会長が各県の中央会を訪問。熊本地震発生時に各県から支援があったことに改めて感謝しつつ、できる限りの支援を行うことを伝えました。

九州では、福岡県内でも多くの被害が発生しており、特に久留米地区のJAみいとJAくるめ管内では、冠水や浸水で施設野菜が出荷できなくなったり、農業機械が壊れたりする被害がでています。

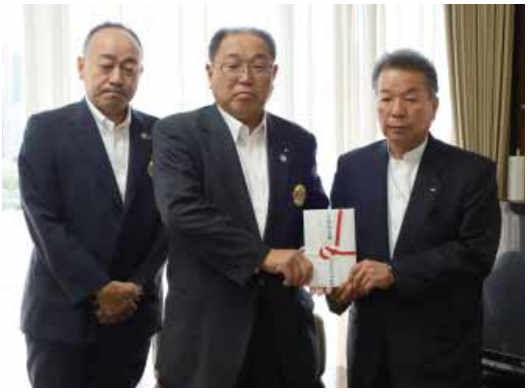
被害が大きかった広島県には、災害支援物資も送りました。JA全中が設置する「平成30年7月豪雨対策中央本部」の支援物資の取り組みに呼応しました。

▲JA熊本中央会の宮本隆幸会長㊨から見舞金を受け取るJA広島中央会の籾田清会長

猛暑の中で進められている復旧作業を支援するため、被災地から要請を受けた水ペットボトル130ケース（2リットル6本入り100ケース、500ミリリットル24本入り30ケース）を輸送しました。支援物資はJA広島中央会に届けられました。



▲宮本会長から見舞金を受け取るJA愛媛中央会の伊賀上恒英常務



▲宮本会長から見舞金を受け取るJA福岡中央会の本村公則専務㊥と松下克弘常務㊧

日米新協議 8月9日ワシントンで

茂木敏充TPP担当相は7月31日、米国との新たな貿易協議（FFR）の初会合を、8月9日に米国ワシントンで開くと発表しました。

両政府はFFRを経て、9月の国連総会時に想定される日米首脳会談で、一定の成果を示したい考えです。米国側が、日本の自動車や農産物市場の大幅開放に向け、自由貿易協定（FTA）交渉入りを迫る可能性があります。

FFRは、茂木氏と米通商代表部（USTR）のライトハイザー代表が協議します。初会合は9日に始まり、協議展開次第で、10日まで行う可能性があります。

日本の自動車や農産物の関税を引き下げるには、FTAが欠かせないことから、ライトハイザー氏は、日米FTA交渉への意欲を重ねて示してきており、日本の牛肉を名指しして「不公平な貿易障壁がある」と指摘。これに対し日本は、慎重姿勢をくずさず、TPP復帰を促し、交渉入りは避けたい考えです。茂木氏は7月31日に開いた記者会見で「いかなる国とも国益に反するような合意を行うつもりはない」と強調しています。

FFRは、安倍晋三首相とトランプ大統領が4月の会談で開催に合意しました。

7月中の開催で一致していましたが、米国の貿易摩擦への対応などにより日程調整が遅れていました。

TPP11国内手続き完了 日EU・EPA署名

政府は7月6日、米国を除く11カ国による環太平洋連携協定（TPP）の新協定（TPP11）承認を、寄託国のニュージーランドに通知しました。これにより、日本は必要な手続きを正式に終えました。メキシコに次ぎ2カ国目となります。

6カ国が議会承認などの手続きを終え、ニュージーランドに通知すれば、60日後に発効されます。

TPP11の参加国は日本、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランド、ブルネイ、ペルー、カナダ、シンガポール、チリ、ベトナム、マレーシアの11カ国です。韓国、台湾、英国、タイ、コロンビア、インドネシアなどが参加に関心を持っています。

また、安倍晋三首相と欧州連合（EU）のトゥスク大統領、ユンケル欧州委員長は7月17日、東京・永田町の首相官邸で、日EU経済連携協定（EPA）に署名しました。

これにより、協定内容が確定し、日本は、秋の臨時国会に協定の承認案と関連法案を提出する方針です。来年初めにも発効する可能性があり、発効すれば、日本は最終的に農林水産物で環太平洋連携協定（TPP）と同水準の82％の品目で関税を撤廃します。

JA熊本経済連からのお知らせ

～居酒屋えぐざいるPARKに 県農産物を使ったメニュー登場～

JA熊本経済連と熊本県青果物消費拡大協議会は、「居酒屋えぐざいる」に協賛し、熊本県産農畜産物のPRと販売促進を図っています。「居酒屋えぐざいる」は、今回で10回目を迎え、期間中、約20万人の来場者数を見込む東京・お台場の一大イベントとなっています。

熊本県産オリジナルいちご「ゆうべに」と「ブルーベリー」を使用したデザートが販売されており、EXILE ネスミス氏が、同経済連のブランド牛「くまもと黒毛和牛『和王』」のPR大使となったことがきっかけで、昨年に引き続き2回目の協賛となります。

「ゆうべに」や「ブルーベリー」は、ネスミス氏プロデュースのフルーツポンチ「PASSION ALL NIGHT ～FRUIT OF WISH～」に使用され、爽やかな酸味でさっぱりとした味わいとなっています。

また、居酒屋えぐざいるで提供している一部メニューにも、生産量が全国1位の熊本県産「トマト」が使用されています。

同イベントは、9月2日まで開催されています。

熊本県産ゆうべに、トマト、ブルーベリー使用

▲イベントで販売されているフルーツポンチ

▲東京・お台場の「居酒屋えぐざいる」

全国農政連推薦・県農政連公認

参議院議員藤木しんやの 永田町でも 百姓宣言

「ツケは誰に回ってくるのか」

【豪雨災害が西日本を襲う】

平成に入ってから最悪とも言える豪雨災害が西日本を襲いました。今般の豪雨災害で被害に遭われた地域の皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、多くの尊い生命が失われてしまったこと、ご家族のご心痛に言葉が出ません。ご冥福をお祈りいたします。

今般の豪雨は1府10県に特別警報が発表され、河川の氾濫やため池の決壊による水害、土砂流入などにより甚大な被害となりました。政府をあげて迅速な被害状況の把握に努めておりますが、未だ被害の全容が明らかになっていません。人命を最優先に今も捜索や復旧作業が続いております。

JAグループでも災害対策本部を立ち上げた県域が多くあります。災害対応に携わっている方々に心から敬意を表します。何から手をつけていいかわからないような状況でも懸命に災害瓦礫の撤去や復旧作業に当たること、本当に大変なことだと思います。私は、熊本地震を経験した際、本当に多くの力を全国の皆様からもらいました。被害に遭われた地域にお返しできるよう力を尽くします。

【国会閉会も危機感は消えず】

延長された通常国会が閉会しました。今国会で農林水産関係は9本の法案が成立しました。後半になればなるほど審議日程は厳しくなりました。言うまでもなく政府や行政を取り巻く様々な問題が影響しました。世論調査によると7割を超える国民が「国会は重要な事案の審議ができていない」と答えています。

私達は、本当に重要なものを見落としていないか。「拙速審議」のツケは誰に回ってくるのか。

9月には農政の方向を左右する自民党総裁選挙が控えています。この間の農業政策の決め方はあまりに一方的です。多くの懸念が法案審議でも「付帯決議」に表れています。現場と同じ危機感をもって今後の対応に挑みます。

▲生産者と農政を語る

全国・県農政連推薦

参議院議員山田としおの 農政問題に斬り込む

参議院農業・農協研究会で、JA改革問題を議論

【参議院の附帯決議を活用すべきだ】

夏から始まる税制と予算の議論で中央会の税制の扱い、JA監査の監査法人監査への移行に伴う負担増問題、来年には准組合員のあり方や信用事業の代理店化等の問題が俎上に上る。そこで、各議員に情報を承知してもらうため、会期中に研究会を開いた。

私が設立以来事務局長を務め、JA改革問題だけでも2年間で20回以上、通算53回の研究会を開催し、与党の幹部に都度申し入れてきた。

特にJA改革問題は、参議院としての意見を取りまとめ、参議院農林水産委員会の議論に反映させてきた。当時の参議院の附帯決議は、野党との協議も重ね、農協改革のあり方に具体的な注文を付け、政府の動きをけん制できるものである。この附帯決議を踏まえ、今後も農水省と党との折衝がなされなければならない。

【二階幹事長の、農協の役割とその評価の挨拶は大切だ】

二階幹事長はJAグループの集会で「地域と農業にとり農協は無くてはならない存在」「准組合員の問題や信用事業の代理店化問題については、農協がダメだということを強行することは決してない」「このことは、党としてしっかりお約束しておきたい」と仰った。政府は農協改革を断行したと誇らず、農協の役割と取組を評価し強化する政策を展開すべきです。

【参考】農協法改正に関する、参議院農林水産委員会の附帯決議（H27・8・27）
（参議院の決議は特に太字部分を盛り込んで決議している）

一．農協改革は、「**協同組合組織の発展を進める中で、農協が自主的な改革に全力で取り組むことを基本とすること**」

三．「**農業協同組合法第一条の目的を踏まえ、正組合員数と准組合員数との比較等をもって規制の理由としないなど**、地域のための重要なインフラとして農協が果たしている役割や**関係者の意向**を十分踏まえること」

「また、**改正後の農業協同組合法第七条について、准組合員の事業利用を規制するものでないことなど、その改正趣旨を適切に周知すること**」

四．「**農業協同組合法第一条は『農業者の協同組織の発達を促進すること』を旨としており、その観点から**、農協の組織変更は、**あくまで選択であり、決して強制的なものではないことを周知徹底**すること」

七．「**農協の監査費用の実質的な負担を増加させない等**の配慮事項が確実に実施されるよう、**関係者の協議を踏まえ、試験的な実証を行うなど**万全の措置を講ずるとともに、**農業協同組合監査士の専門性が生かされるよう配慮すること**」

九．「**農協等、我が国協同組合の目的・理念について、国民的理解が深まるよう努力すること**」

「**また、農業団体は、食料・農業・農村基本法において基本理念の実現に主体的に取り組むよう努めるものとするとされていることに鑑み、農業団体に関する政策を含む、具体的農業政策の決定に当たっては、食料・農業・農村基本法の施行に関し調査審議する食料・農業・農村政策審議会の意見を尊重すること**」

ガンバッテます！

中村　祐司さん
JAかみましき
青壮年部部長

山都町千滝で、稲作やキュウリなどの栽培をされている中村祐司さんを取材しました。

中村さんのご家族は、奥様とお子さん3人の5人家族です。

取材当日、山都町からお試しで、実習生を受け入れる忙しい日でした。

●就農について

農業大学へ行くことも考えていたそうですが、4人兄弟の長男であり、弟たちもまだ幼く家のことを考え、地元の高校卒業後、就農されています。

就農直後は、手伝うことがメインで、指示がないと動けない状態でしたが、10年程経った頃から、自分で考えて動けるようになり、一人での仕事が多くなったとのことです。

現在は、中村さんとご両親の3人で、米1㌶、また、無農薬など農林水産大臣が定めた品質基準や表示基準を合格し認定される「有機JAS規格」の認証を受けた畑で、きゅうり・おくら・さといも・にんじん・かぶ・じゃがいも2㌶栽培されています。

●農業をやっていて良かったこと

「若い頃は、自由な時間を作れたことですね。そして、好きな時に好きなサッカーをやっていました。今は、体力を考えサッカーではなくフットサルをしています。」

●今後の抱負と将来について

「熊本地震後の水害からの復旧が、まだ追いついていない状態ですが、使いやすいように、管理しやすいような基盤整備をしたいです。また、子どもが3人いるので、誰かが後を継ぎ、一緒に農業をしたいです。一緒に農業することを考えると、すごく楽しみです。」

●好きな言葉

「メリハリです。仕事は仕事、遊びは遊びと、けじめをつけて取り組むことが大事だと思います。」

●最後に一言

「自分の経営の売上を上げることは大事ですが、地域から助けられて今があるので、もっと地域を大切にしましょう！」

サッカーが大好きで、現在はフットサルをしている中村さん。休日は、フットサルより子ども達と遊ぶことが楽しいと、イクメンな中村さんでした。

出荷者：松本　香代子さん
直売所：「Aコープ苓北」
紹介JA：JAれいほく

天草郡苓北町で柑橘類を栽培し、その柑橘類を使ったお菓子作りをしている松本さんを取材しました。

●就農について

天草市栖本町で生まれ育ち、学校卒業後、愛知県で就職。2年後実家へ戻り、4Hクラブで知り合った、天草郡苓北町の旦那様のもとへ23歳で嫁ぎ、日本一おいしい「越冬袋掛けみかん（夢味）」等の柑橘類3.5㌶を栽培されています。

●お菓子作りのきっかけ

「15年程前になりますが、当時、子どもたちが作っていたシフォンケーキに手作りのみかんピールを入れたものが凄く美味しかったのがきっかけです。また、テレビ局のレポーターにシフォンケーキを出したとき「美味しい！」という言葉を待っていたら「売れる！」という言葉が返ってきて、加工所を作ることを決めました。シフォンケーキは毎日30個、結婚式の引菓子依頼があるときは100個以上焼きます。材料全て熊本県産にこだわっています。」

●直売所について

「最初に『Aコープ苓北』にシフォンケーキを出したのがきっかけで、人から人へと伝わり、今の経営に至っています。お菓子作りの出発地であり、人と人の繋がりの場所です。」

シフォンケーキは「Aコープ苓北」「グリーントップ本渡」「天草とれたて市場」で購入できます。

▲松本さん手作りのシフォンケーキとハードゼリー

●今後の抱負

「着色料や香料などの添加物を使わない、デコポンの『ハードゼリー』を試作中です。試行錯誤していますが、わが家の果汁の味を活かした美味しいものを作りたいです。」

お米で作ったデコシフォンケーキで「熊本県農山加工食品コンクール」の熊本県賞を受賞した経歴の持ち主。柑橘作り、お菓子作り、陶器の絵付けと、好きなことを仕事に出来た、羨ましい限りの松本さんでした。

JA 中央会

くまもと売れる米づくり推進大会・115万俵集荷

～くまもと売れる米づくり推進本部～

くまもと売れる米づくり推進本部は7月13日、熊本市で「平成30年度くまもと売れる米づくり推進大会」を開きました。生産者やJAグループ役職員、取引市場、行政関係者ら約260人が参加し、米集荷115万俵（1俵60キロ）の目標達成を目指すことを確認しました。

宮本隆幸本部長（JA熊本中央会会長）が「県産米のブランド力、価格交渉力を強化し、高品質・良質米の生産・振興をはじめ、今後も米の安定供給を通じて、農業者の所得増大を図っていく」とあいさつしました。

JAあまくさの川口義英組合長が「消費者の信頼に応える、安全・安心で美味しいくまもとのお米の安定供給のため、JAグループ集荷目標115万俵の達成と生産基盤の維持強化を目指す」と大会宣言し、最後に参加者全員で頑張ろう三唱で締めくくりました。

▲頑張ろう三唱をする参加者

JA菊池が優勝!!

JA県親善野球大会

～県農協役職員連盟連絡協議会～

県農協役職員連盟連絡協議会は7月21、22日の両日、熊本市の県民総合運動公園と合志市の菊池恵楓園で、第42回JA熊本県親善野球大会を開きました。県内JA役職員相互の親睦を図ることが目的です。

今大会は、JA菊池が優勝し、最優秀選手賞に徳永桂亮さん（JA菊池）が選ばれました。

県内JAや中央会・連合会から15チームが参加。各チームとも日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。会場では一球一打に拍手や声援も送られ、大いに盛り上がりました。

同協議会の梶原哲会長は「この大会を通じて互いの親睦を図ってほしい」とあいさつ、福田優誠選手（JAあしきた）が選手宣誓を行いました。

その他の結果は、次の通り。

▽準優勝＝JAあまくさ　▽3位＝JA鹿本　▽4位＝JA熊本うき

▽優秀選手賞＝中原英幸（JAあまくさ）

▲優勝したJA菊池チーム

JA 経済連

夏野菜カレーで販売促進活動実施

熊本県青果物消費拡大協議会（事務局＝JA熊本経済連）はハウス食品（株）とタイアップし、毎年カレー消費のピークとなる7・8月にあわせて、熊本県産野菜を使った夏野菜カレーの販売促進活動に取り組んでいます。具材には、生産量が全国1位の「トマト」のほか、「ナス」「グリーンアスパラガス」といった県産野菜を提案しました。

調理時間約25分のフライパンひとつで簡単にできるレシピも考案され、栄養バランスの摂れた食事を推進しています。さらに、地元食材を使うことで「地産地消」による県産野菜の消費拡大を促します。

同活動ではテレビCMの放映やリーフレット配布のほか、ポスターによるPRにも取り組んでいます。

7月中旬より県内外のスーパー・直売所10社46店舗で試食販売を行っており、各店舗が工夫を凝らした宣伝で活動を後押ししています。

同協議会は「トマトやナスなどの熊本県産夏野菜をたっぷり使ったカレーをぜひ皆さんに食べてもらいたい」と意気込んでいます。販促活動は、8月上旬まで続きます。

▲トマトとなすとアスパラガスのカレー

▲地元スーパーで行われた試食販売の様子

JA 共済連

アンパンマン交通安全キャラバンを開催しました！

小学生の交通事故率についてご存知ですか？小学生の歩行中の死者数は小学1年生が最も多く、平成25年から平成29年までで、48人の尊い命が失われています。これは小学6年生の約8倍にも及び、登下校中の事故が特に多く発生しています。※（出典：警察庁交通局平成30年1月31日時点）そこで、子どもたちが小学生になる前から、早めに交通ルールについて学ぶことが重要となります。

ＪＡ共済では地域貢献活動の一環として、アンパンマン交通安全キャラバンを開催しています。アンパンマン交通安全キャラバンは、子どもたちに対する交通安全啓発を目的として開催されており、交通ルールについて親子で考える機会を提供しています。

今年はＪＡかみましき、ＪＡあしきた、ＪＡ本渡五和の３ＪＡがそれぞれ主催しました。

子どもたちは、アンパンマンとその仲間たちが繰り広げるステージショーやゲームを通じて、楽しみながら交通ルールについて学ぶことができました。ショーの他にもアンパンマンたちとの握手会、抽選会なども開催され、親子で楽しめる大満足のイベントとなりました。

この他にもＪＡ共済では様々な地域貢献活動を展開しています。詳しくはＪＡ共済のホームページをご覧ください。

ＪＡ共済くまもとホームページ
ＵＲＬ：http://ja-kyosai-kumamoto.com

抽選会の様子

風船の配布

受付の様子

JA 厚生連

日帰り人間ドック

厚生連健康管理センターでは、総合的な健康診断として『日帰り人間ドック』を行っています。

ぜひ、人間ドックを受けて健康づくりにお役立てください。

◆充実した検査内容！

日本人間ドック学会が定めた検査項目に、肺年齢や心機能検査等を追加し内容を充実しました。

◆健診当日の個別結果説明！

当日は、医師・保健師・管理栄養士による個別説明を行います。さらに生活習慣改善のアドバイスを行います。

◆健診後のフォローが充実！

健診後も引き続き医師・保健師・管理栄養士が生活習慣病の改善や予防を中心とした健康づくりをサポートします。

◆満足していただけるように！

経験豊富なスタッフが親切・丁寧で充実した検査を提供いたします

★当センターの日帰り人間ドックでは、地域密着・皆様に愛される健康管理センターとなるために、受診者一人ひとりが生活習慣を意識して健康と向き合っていけるよう精一杯サポートしてまいりますので、厚生連健康管理センターを宜しくお願いいたします。

コース・料金
- ◆「標準コース」・41,040 円（税込）
- ◆「胃カメラコース」・47,520 円（税込）

オプション検査・追加料金
- 胃がんリスク検査・追加料金：3,240 円（税込）
- 前立腺(PSA) 検査・追加料金：2,160 円（税込）
- 乳がん検査（マンモグラフィ）・追加料金：4,860 円（税込）
- 乳がん検査（超音波）・追加料金：2,160 円（税込）
- 子宮頸がん検査・追加料金：4,320 円（税込）
- 骨粗鬆症検査・追加料金：2,160 円（税込）
- 「甲状腺超音波」・2,160 円（税込）
- 「頭部血管超音波」・3,240 円（税込）

JAのこども共済が2017年度第9回
マザーズセレクション大賞を受賞!!

お子さまの学資金づくりに。

なないろデザイン

JAのこども共済 学資応援隊

くらしの保障、相談するなら JA共済

18481050139

▲スタジオ撮影の様子

▲オクラたっぷりキーマカレー

ココロとカラダを育むマガジン

hug vol. 25

レシピ：お食事系スイーツ♪米粉で夏野菜チーズマフィン&
オクラたっぷりキーマカレー

あぐりびと：菊陽のオクラ生産者

発行は８月２４日です！乞うご期待！

2018 PHOTO CONTEST KUMAMOTO

応募テーマ
『農業・農村の美しい四季の風景』
『風景と農作業』『地元の祭りや催事』
『農畜産物を食べている人物の写真』
『復興に向けた農作業の様子』など

応募期限
平成31年1月31日(木) 締切
web・スマートフォンからご応募ください。

賞金
くまもとの今を伝えたい。
グランプリ 5万円+副賞 1点
RKK賞・・・・・・・・1点 賞金2万円+副賞
JAグループ熊本賞1点 賞金2万円+副賞
たのしい未来賞(学生)1点 賞金1万円+副賞
(撮影者が、小学生・中学生・高校生の作品)
おいしい笑顔賞 1点 賞金1万円+副賞
(熊本県産の農畜産物を食べている人物を撮影した作品)
入選・・・・・・・・20点 3千円相当の農畜産物
【副賞：くまもとのおいしい農畜産物】

web応募先
http://rkk.jp/japhoto/
フォトコンテスト応募ページよりご応募ください。

スマートフォン応募先
japhoto@rkk.jp
①名前②郵便番号③住所④TEL⑤メールアドレス⑥年齢⑦作品名を必ず明記の上、ご応募ください。(未記入の場合は応募対象となりません。)

■主催／JAグループ熊本、RKK熊本放送 ■協賛／「熊本みどり・食・環境基金」 ■後援／熊本県、熊本県教育委員会、熊本日日新聞社

KUMA MOTO

安全・安心の熊本ブランド豚
くまもとのブランド豚肉を食べて当てよう!
くまもとSPF豚
くまもとのりんどうポーク
夏のキャンペーン
2018年8/18sat→9/18tue

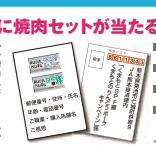
くまもとSPF豚・くまもとのりんどうポークは日頃の感謝の気持ちを込めてキャンペーンを開催致します!
期間中、お買い上げいただいた商品のパッケージに付いている
ブランドシール2枚一口で応募すると抽選で100名様に焼肉セットが当たります!
たくさんのご応募お待ちしております。

KUMA MOTO SPF豚 KUMA MOTO りんどうポーク

抽選で100名様に焼肉セットが当たる!

くまもとSPF豚・くまもとのりんどうポークに付いているブランドシールを2枚一口とし、応募ハガキもしくは郵便ハガキに貼るか、封筒に入れて、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、ご職業、ご購入店舗名、ご感想等を明記の上、ご応募ください。お一人様何口でもご応募できますが、1口につき一口とさせていただきます。

※ハガキにシールを貼る際は、はがれないようにセロハンテープなどで、しっかりとお貼りください。
※シールはくまもとSPF豚2枚分、くまもとのりんどうポーク2枚もしくは両方のシールを1枚ずつ2枚をハガキに貼るか封筒に入れてご応募ください。



賞品 ブランド豚肉焼肉セット1kg.
(くまもとSPF豚500g・くまもとのりんどうポーク500g)
応募期間 平成30年8月18日(土)～平成30年9月18日(火)
※当日消印有効
当選発表 発表は発送をもってかえさせていただきます。
※10月中旬発送予定
応募先 〒861-1343
熊本県菊池市七城町林原0 JA熊本経済連内
「くまもとSPF豚・くまもとのりんどうポーク
キャンペーン」係

※応募の際にご記入いただく個人情報はキャンペーン以外に使用いたしません。

JA熊本経済連
JAくまもと肉豚統販推進協議会

あとがき

酷暑。地域によっては、40℃を超えたところもあったようです。

今から20年以上昔の話ですが出張で東京へ行った時のことです。当時も、何年かに一度の真夏日という年でした。大先輩お二人、そして下っ端ペイペイの珍道中三人旅？

出張は毎日勉強三昧のスケジュールでしたが、東京に行けることが嬉しくて、ウキウキで出発しました。ただ、思いのほか暑くて。毎日、行きは地下鉄でしたが、帰りはなぜか徒歩。そうです、一緒に行った大先輩の一人が歩くのが大好きで。それに合わせて私達も歩く羽目に。

東京での移動手段は、地下鉄かJRと思っていた私は何故、東京にまで来て歩くの？と疑問でした。

東京を知り尽くしていた大先輩は、歩きながら、いろんな場所へ案内してくれました。地下鉄での往復だと行かない場所へ。毎日、違う道を帰りました。皇居前を歩き、丸ビルで一杯、ビールで乾杯という日も・・・。歩いた後は、格別に美味しかったです。勉強が辛かったことも覚えてはいますが、歩いたことはもっと覚えています。はっきりと。

今となっては、いい思い出です。

●盟友の皆様のご意見や周辺地域の話題、写真などをお寄せ下さい。

連絡先　熊本県農業者政治連盟
JA熊本県会館10階
（電　話）096-328-1284
（FAX）096-326-5807